

令和3年度指定

PTA と連携した家庭教育支援

光市立室積小中学校 PTA

1. 学校・地域の概要

光市は山口県の東南部、周南工業地帯の東部に位置し、瀬戸内海国立公園を一部に含む自然景観の優れた人口約5万人の都市です。

市域北西部を島田川が貫流して周防灘に注ぎ、中心地域は河口デルタを形成して、その両端に西日本屈指の海水浴場で知られる室積・虹ヶ浜の白砂青松の海岸が広がっています。総延長約8kmに及ぶ美しい海岸は「森林浴の森日本100選」や「日本の白砂青松100線」、「日本の渚・百選」にも選ばれています。

室積の市街は、かつて島であった峨眉山との砂州で形成されています。東側の御手洗湾は波静かな湾で、明治初期までは北前船の風待港として機能し、港町として賑わいました。普賢寺は海の守り神として西日本に広く信仰者を集め、春の大祭には今でも多くの参詣者が訪れています。

1小1中の校区で、室積中学校は平成25年から、室積小学校は平成26年からコミュニティスクールとなり、令和2年より小中一貫教育「室積学園」としてスタートいたしました。両校は直線距離で約2km、室積学園の発足に合わせ、PTA組織についても統合し、現在では室積小中学校PTAとして活動を進めています。地区住民の学校教育への関心は高く、学校行事や地域の諸活動に対しても協力的で熱心です。

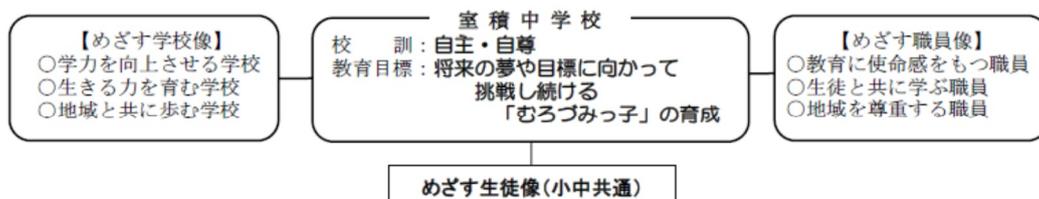


2. 学校運営方針

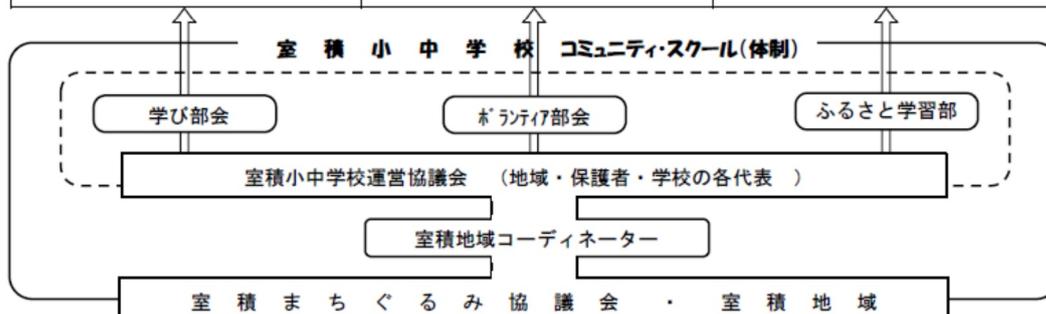
令和3年度 室積中学校（コミュニティ・スクール）学校経営概要



室積学園の教育目標 日本一学びが好きな「むろづみっ子」の育成



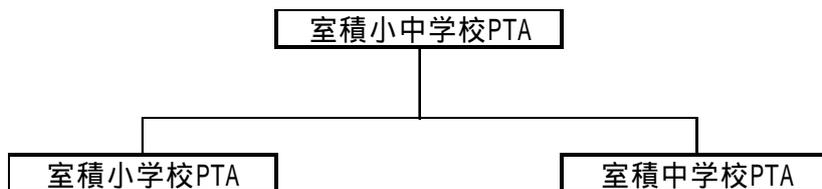
自分を見つめ、夢をもち、人との関わりを大切に、地域を愛する生徒		
自分を見つめ夢をもつ生徒	人との関わりを大切にする生徒	地域を愛する生徒
<ul style="list-style-type: none"> ○自分が好きな生徒 ○授業に真剣に取り組む生徒 ○思いや考えを表現する生徒 ○将来の夢や希望を語れる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校が好きな生徒 ○自他の人格を大切にする生徒 ○思いやりを言動に表す生徒 ○あいさつ・返事ができる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域が好きな生徒 ○社会の規律を守る生徒 ○地域の未来を考える生徒 ○伝統・文化を大切にする生徒



学 校 運 営 の 方 針		
<p>① 室中「ABC美礼時」の実践をとおして、基本的な行動基盤の定着を図る。</p> <p>② 「9年間で子どもたちを育てる」視点を大切にして、小中一貫教育の充実を図る。</p> <p>③ 学校・家庭・地域の連携・協働による「むろづみ大好きっ子」作戦における3つの育てるワード「そろえる」「伝える」「感謝する」の浸透を通して、地域ぐるみによる子育てを推進する。</p>		
<p>【チャレンジ目標】</p> <p>室中 ABC美礼時 (ビレッジ)</p>	<p>「A」あたりまえのことを 「B」びっくりするくらい 「C」ちゃんとやる</p>	<p>「時」時を守り 「礼」礼を正し 「美」美を制す</p>
<p>【子育てのあい言葉】</p> <p>3つの育てるワード</p>	<p>①「そろえる」 形がそろえば気持ちまで「はきもの・カバン・荷物」</p> <p>②「伝える」 笑顔で「あいさつ・返事」正しい「言葉づかい」</p> <p>③「感謝する」 いつも「ありがとう」の気持ちで「ものを大切に・無言清掃」</p>	

本 年 度 の 努 力 点
<p>① キャリア教育、特別活動等の活動を通して、達成感や自己有用感・肯定感を高める。</p> <p>② 授業力の向上、家庭学習の定着・充実をとおして、学力の向上を図る。</p> <p>③ 特別支援教育の視点に立った教育活動を意識し実践する。</p> <p>④ コミュニティ・スクールの特性を生かしながら、小中一貫教育の充実を目指す。</p>

3. PTA 組織について



小学校、中学校それぞれの PTA 組織を上部でつないだ組織としています。小中学校 PTA の会長は中学校会長、副会長は小学校会長とし、理事に両校の執行部を置いて横のつながりを意識した組織作りとしました。各 PTA に 3 つの委員会があり、それぞれがコミュニティスクールの 3 つの部会と連動しています。

昨今のコロナ環境下においては、以前のような PTA 活動は難しく、役員を分散させながら活動を進めてもらっています。会議の多くは行わず、LINE を活用してオンラインで役員同士の意思疎通を図っています。

4. 研究テーマについて

本年は、県 PTA 連合会委託事業である「PTA と連携した家庭教育支援」を推進しています。また、統合組織として小中協同で行う行事も多く、目指す子ども像『日本一学びの好きな「むろづみっ子」の育成』を狙い、活動を推進しています。子どもには、学習の学びだけでなく、地域での学び、人間関係の学びも併せて提供していきます。今回、「PTA と連携した家庭教育支援」を併せて推進することで、「親への学びの機会」を提供する活動にしていきます。

5. 活動内容

(1) 室小オリンピック（家庭教育支援活動）

通常、PTA バザーを行うところ、コロナ環境下で密集をさけるため、1 学年 1 時間で児童が数種類のミニゲームを楽しむイベント。このイベントは家庭教育支援の側面を活かします。保護者にはイベント前に「子どもの上手なほめ方、叱り方」をレクチャーします。保護者に対しては大まかなゲームのルールはお伝えするも細かいルールは集まった保護者で相談して決めます。これによりゲームを通じて、学年に応じたルール設定を議論してもらうことで、高学年の経験のない保護者にも先を見通す経験となります。



・信号機ゲームの様子

リズムに合わせて、青なら 1 歩前、赤なら一歩後ろ、黄色ならその場でジャンプを行う。児童の両サイドに保護者。

(2)親子球技大会（家庭教育支援活動：今回中止）

中学生の部活動（球技）で、児童、保護者、地域の方々に参加者を募ります。児童には中学校の部活動体験ができ、保護者は一緒に部活動体験をすることで、中学校活動の現状の把握、保護者同士の会話の促進が図れます。また、児童/生徒と直接活動することにより、中学校の経験のない保護者は中学校の雰囲気を感じ取れる機会になります。日頃生徒が活動する環境も確認することができ、施設改善等にも活用できます。



・平成 30 年度の様子。当時は中学校のみで実施。児童の参加なし。

(3)室小キラリ シ大作戦（家庭教育支援活動）

学校運営協議委員にて学校内点検を行い、改善内容を提案していただきます。PTA 役員にて図書室大改善、フロアピカピカ大作戦等を実施。全校キラリ シ大作戦として PTA 全役員で全校窓ふきを実施予定です。図書室大改善では、壁の穴あき補修や図書のバーコード化推進を実施。バーコード化については、小中保護者両方で実施。作業をしながら小中保護者で会話をする機会となりました。



(4)環境整備作業（合同は中止、個別開催）

児童/生徒、保護者に合わせて地域の方も「室積応援隊」を結成して活動を推進しています。1小1中のため、同日に環境整備作業を実施すると、参加者が分散し対応範囲が狭くなるため、どちらかに集約して開催を検討。一昨年中学校のみ実施で試行し、確かに参加者は1校に集まり、広範囲での作業が実施できました。今年度は両方での開催。今後も合同開催するための方案を継続検討していきます。今回の支援金にて手押し型草刈り機購入の補助とさせていただきました。活用させていただきます。



・室積応援隊の皆様。草刈り機を使用するため、子どもとの距離が必要。今回、手押し型草刈り機で怪我リスクを低減。

(5) 「室小ってこんなところ」(家庭教育支援活動、今回は中止)

<p>室積学園の良いところを幼保に紹介する活動。小中保護者で読み聞かせをしながら、幼保保護者に室積学園の紹介を行いながら、学校に対する不安やわからないところを解消するためのイベント。今年はコロナ蔓延につき中止となったが、次年度以降は開催していきたいと思います。</p>	-
--	---

6. 成果と課題

PTA と連携した家庭教育支援では、親同士の学びの場を提供するのではなく、児童/生徒を活用した「実践的家庭教育支援」を指向しました。当初の想定以上に子どもの活動を目の当たりにした保護者が、子どものために考え、保護者同士で協力する姿が多くみられました。コロナ影響で小中合同でのイベントが開催できず、その成果をもっと広い範囲で確認できなかったことが課題です。また、図書室大改造では、特に図書のバーコード化を小中保護者で行っていただきました。来られた母親は、皆さん手を動かしながらでも会話が弾み、まさに母親の力を感じることができました。

小中統合された PTA としては、まだそれぞれの PTA の活動意識が根強くありますが、小中合同のゴルフコンペを開催したり、今年は中止となりましたが、地域の夏祭りへの出店を合同で出す等徐々にではありますが、合同での活動が増えてきています。

PTA 活動は、できる方法を考えること、やるかやらないかを悩むのであれば、まずやることが大事だと思います。できるかできないかは組織の能力ですが、やるかやらないかは組織のやる気一つです。これからも、学校、地域と協力しながら、全力で PTA 活動に邁進していきます。

以上